

第118期中間報告書 2023年3月1日 ▶ 2023年8月31日

株式会社 **東京衡機**
証券コード：7719



TECHNOLOGY AND KNOWLEDGE ENRICH SOCIETY



財務ハイライト

決算のポイント

✓ 試験機事業

- 国内企業の景況感は上向きになり設備投資意欲にも持ち直しの動きが見られ、自動車、鉄鋼、産業機械関係等からの受注・引き合いが増加
- 海外渡航制限の緩和により、中国や韓国などの海外の企業からの製品受注も回復
- 部品・原材料等の仕入れ価格の高騰により一部の製品やサービスで利益が圧迫されるとともに、オーダーメイド製品で原価の悪化があったことから、利益の確保に苦戦するも、売上高・利益ともに前年同期を上回る

✓ エンジニアリング事業

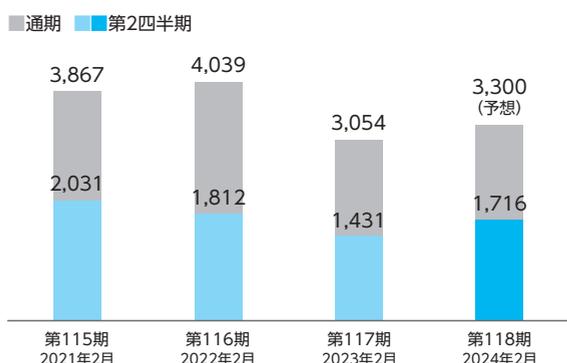
ゆるみ止めネット・スプリングについて、引き続き高速道路や橋梁等の社会インフラ向けや国内建設市場向けに製品の浸透と市場シェアの拡大に努めた結果、公共工事や都市開発関連で使用するゆるみ止め製品の販売は堅調に推移し、エネルギー関係の工事案件の需要が伸びたことから、売上高・利益ともに前年同期を大きく上回る

✓ その他

- 神奈川県相模原市南区の本店ビル売却に伴い、帳簿金額と売却価格の差額を減損損失として特別損失に計上
- 金融庁より納付命令を受けた12百万円の課徴金に関して、前連結会計年度において訂正関連費用引当金として30百万円を計上していたため、その差額を特別利益に計上
- 2023年5月から8月末までに、前連結会計年度において貸倒引当金に計上した商事事業の販売先に対する未回収債権のうち32百万円の回収があったため、当該回収金額を貸倒引当金戻入額として特別利益に計上

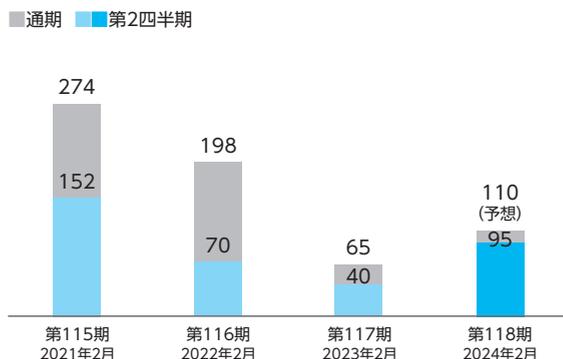
売上高

(百万円)



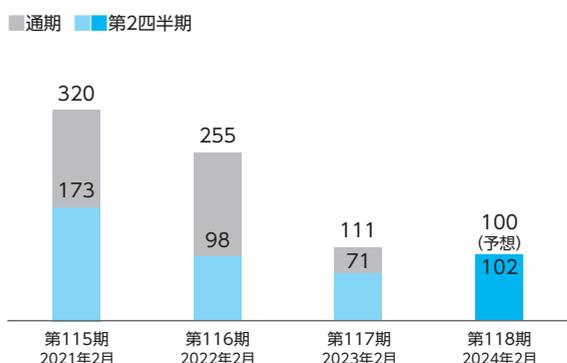
営業利益

(百万円)



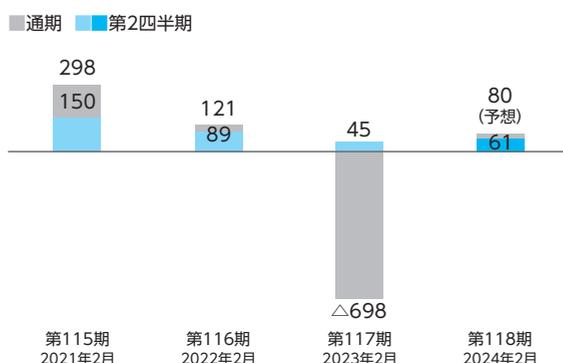
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

(百万円)



	第115期 2021年2月		第116期 2022年2月		第117期 2023年2月		第118期 2024年2月	
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期	第2四半期	通期(予想)
財務関連データ (百万円)								
売上高	2,031	3,867	1,812	4,039	1,431	3,054	1,716	3,300
営業利益	152	274	70	198	40	65	95	110
経常利益	173	320	98	255	71	111	102	100
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益又は純損失(△)	150	298	89	121	45	△698	61	80
総資産	4,245	4,464	4,560	4,396	3,799	3,451	3,202	-
純資産	1,893	2,039	2,127	2,137	2,182	1,438	1,499	-
自己資本(当期)純利益率(ROE)(%)	8.1	15.8	4.3	5.8	2.1	△39.1	4.2	-
自己資本比率(%)	44.6	45.7	46.7	48.6	57.5	41.7	46.8	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	182	204	△123	217	208	△160	△179	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34	△95	△187	△92	△50	△51	250	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	81	△129	297	98	△376	△383	46	-
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,135	886	873	1,110	892	515	632	-
1株当たりデータ (円)								
1株当たり四半期(当期)純利益又は純損失(△)	21.13	41.85	12.54	17.05	6.39	△98.01	8.57	11.22
1株当たり純資産	266.51	285.95	298.41	299.73	306.11	201.73	210.30	-

※2023年3月8日付で過年度決算の遡及訂正を行っており、第115期、第116期および第117期の第2四半期は訂正後の金額を記載しております。

株主の皆様へ

平素は格別のご支援、ご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

一般の商事事業の会計不祥事につきましては、株主の皆様にも多大なご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと、衷心よりお詫び申し上げます。

当社は、2023年8月28日付で、第三者委員会の調査報告書に記載された提言および特設注意市場銘柄の指定を受けるに至った理由を踏まえて、上場会社として存続していくために不可欠な役職員のコンプライアンス意識を醸成するための継続的な研修の実施、役員の適格性に関する基準および役員候補者選定プロセスの整備、経営陣に問題が生じた場合に組織として牽制を効かせられるガバナンス体制の構築、新規事業および取引先のチェックの改善・強化、内部統制・内部監査体制の改善・強化、再発防止策を継続的に実施していくための社内ルール化などガバナンス・内部管理体制を抜本的に改善し整備していくための改善計画を策定・公表し、グループの役職員一丸となって取り組んでおります。

当社グループの第118期上半期（2023年3月1日～2023年8月31日）のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、社会経済活動の正常化が進み個人消費や設備投資、輸出等に持ち直しが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や円安の進行、原材料・資源価格の高騰、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化、中国経済の先行き懸念など、わが国経済を取り巻く世界情勢は依然として予断を許さない状況となっております。

このような状況の下、当社グループは、試験機事業につきましては、標準的な試験機を中心に受注・売上は堅調に推移し、一部のオーダーメイドの試験機で原価率の悪化があったものの、前年同期と比べ売上高・利益ともに増加いたしました。また、エンジニアリング事業につきましては、公共工事や都市開発関係を中心にゆるみ止め製品の販売は堅調に推移し、とりわけエネルギー関係の工事案件の需要が伸びたことから、売上高・利益ともに前年同期を上回ることができました。

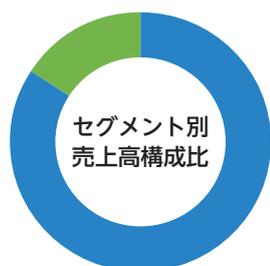
この二つのコア事業は産業の基盤と社会インフラの「安全・安心」を支える事業であり、社会に必要不可欠な製品・商品・サービスを提供する企業グループとして今後も成長していくために、製品品質とサービスの向上に取り組むとともに、さらなる発展を目指して、他社との業務提携や新たな事業展開も進めております。本年4月に業務提携をした(株)先端力学シミュレーション研究所とは、新たな収益機会の創出や事業の開発について定期的に会合を行い、同社との協働による引合いの獲得にもつなげ、さらなる提携効果の実現を目指しております。

皆様におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 小塚 英一郎

セグメント別の概況



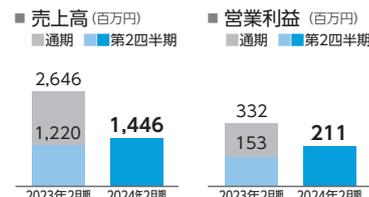
■ 試験機事業	84.2%
■ エンジニアリング事業	15.8%
■ その他	0.0%

1923年創業の伝統と高い技術力を誇る試験機事業をはじめとして、画期的なアイデアで社会に安心と安全を提供しているエンジニアリング事業など、技術と知識で豊かな社会の実現に貢献すべく様々な事業を展開しています。

試験機事業

- **事業内容** 試験機・計測機器の開発・設計・生産およびメンテナンス・校正・受託試験サービス
- **ビジョン** 産業・科学の基盤技術を支える信頼感と存在感のある試験機企業を目指す。

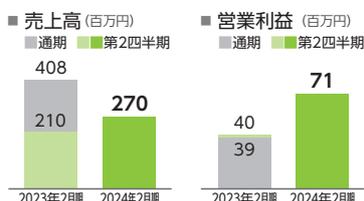
売上高 **1,446**百万円 営業利益 **211**百万円



エンジニアリング事業

- **事業内容** ゆるみ止めナット・スプリングの製造・販売、その他建築資材の販売
- **ビジョン** 社会に安全・安心を提供し豊かな社会の実現に貢献する企業を目指す。

売上高 **270**百万円 営業利益 **71**百万円



その他

売上高 **0**百万円 営業利益 **△3**百万円

(注)「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を2023年2月期より適用しています。

大成建設(株)様開発の「CSプレート」への技術協力および販売委託



当社グループの(株)東京衡機エンジニアリングは、大成建設(株)様開発の「CSプレート」に技術協力を行い、製造販売の全面委託を受けました。同製品は2021年上半旬に大成建設(株)様より開発の協力依頼を受け、正式発注までに2年の歳月を要した製品となります。

「CSプレート」は、(株)東京衡機エンジニアリングの製品である「スマートインサートナット」を少し湾曲した山形のプレートに取り付けた製品で、建築業界で広く使用されている押出成形セメント板 (ECP) の取付け金具として使用します。ECPは中低層の鉄骨建築物の外壁や間仕切り壁に用いる材料で、板の間に複数の穴が開いているのが特徴です。

従来、ECPを取り付ける際には、ボルトをある程度の

低い締付トルク (ねじを回して締める時に回転方向に回す力の大きさのこと) で締める必要があります。しかし、締付トルクが小さいとボルトが緩みやすくなるほか、取付け金具には緩み止め機能が施されていませんでした。今回販売を開始する「CSプレート」およびそれに取り付けられている「スマートインサートナット」には、(株)東京衡機エンジニアリングの主力商品である「スマートハイパーロードナット」の緩み止め技術が活かされており、ボルトがある程度の低い締付トルクで締められていても緩み脱落することがありません。

(株)東京衡機エンジニアリングでは引き続き緩み止めをはじめとする技術を活かし、より良い製品の開発・販売を行ってまいります。



CSプレート



ECPへの「CSプレート」取付け状況



スマートインサートナット



スマートハイパーロードナット

「TEST2023-第17回総合試験機器展」への出展

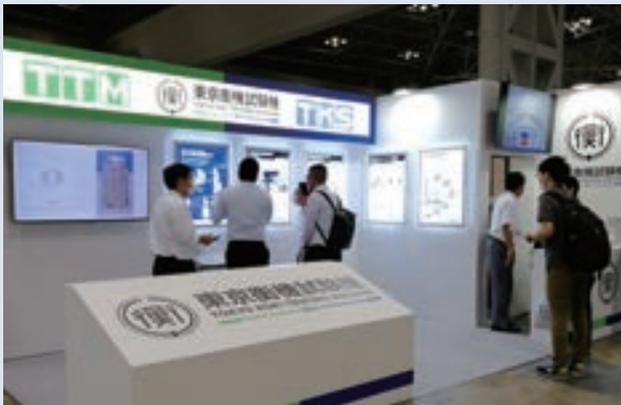


当社グループの(株)東京衡機試験機は、2023年9月13日(水)から15日(金)までの3日間、東京ビッグサイトにて開催された一般社団法人日本試験機工業会主催の「TEST2023-第17回総合試験機器展」に出展いたしました。

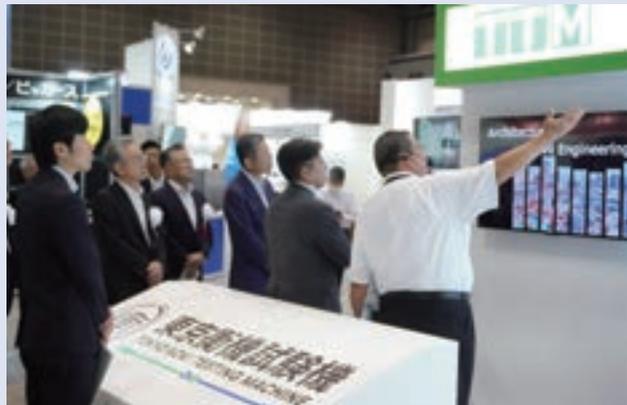
展示会のテーマは「未来につなぐ試験と計測“見える信頼-確かな品質”」で、(株)東京衡機試験機が本年2月に東京大学にお納めした、低炭素化に向けた次世代エネルギー

として注目される液化水素の貯蔵に関する先端技術の評価に用いられる「クライオスタット付500kN高性能評価試験機」や、業務提携先の(株)先端力学シミュレーションとの協業により、試験機とDIC(デジタル画像相関法)、さらにはCAE(コンピュータ支援エンジニアリング)を統合しより高度な性能評価を支援するDX(デジタル変革)試験機など、新たな時代の試験ソリューションをご紹介いたしました。

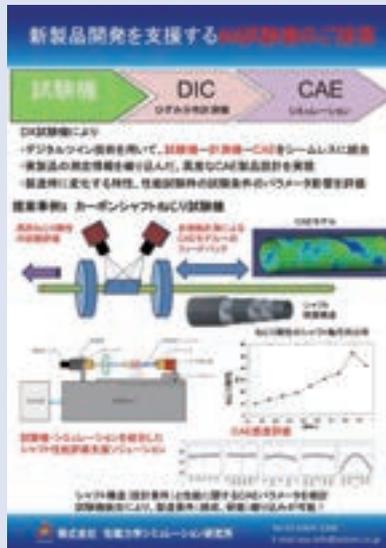
今回の展示会は前回と比べ来場者数も大幅に増加し、開催初日には経済産業省の巡覧も行われるなど盛況を博しました。(株)東京衡機試験機の展示ブースにご来訪いただいた皆様には、説明員の説明のもと大型モニターを使用した動画やパネルをご覧ください、「未来につなぐ試験と計測」に対する取り組みをお伝えすることができました。



TEST2023展示ブース全景



経済産業省ご来訪



主な出展内容

株式情報 (2023年8月31日現在)

株式の概況

発行可能株式総数	26,000,000株
発行済株式の総数*	7,133,791株
株主数	3,349名

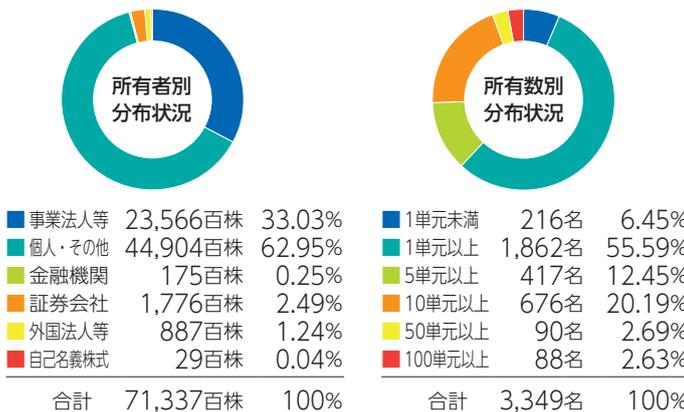
※上記の発行済株式の総数には、自己株式2,903株を含みます。

大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (百株)	持株比率 (%)
Dream Bridge株式会社	21,401	30.01
石塚 智士	3,800	5.32
山下 秀子	2,344	3.28
佐藤 充弘	1,592	2.23
岡崎 由雄	1,050	1.47
池上 道弘	866	1.21
上田八木短資株式会社	666	0.93
熊谷 正昭	632	0.88
宝天大同	524	0.73
スマート有限会社	507	0.71

※持株比率の算定においては、発行済株式より自己株式 (2,903株) を控除しております。

株式の分布状況



株主メモ

事業年度	3月1日から翌年2月末日まで
期末配当金受領株主確定日	2月末日
定時株主総会	毎年5月開催
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同上連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-0044 東京都府中市日鋼町1番1号 ☎ 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場金融商品取引所	東京証券取引所スタンダード市場
公告の方法	電子公告 (掲載URL https://www.tksnet.co.jp/) (ただし、電子公告によることができない事故その他の止むを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)
1. 株主様の住所変更、単元未満株式買取・買増請求その他の各種お手続きにつきましては、原則として、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行株式会社) にお問い合わせください。同行全国各支店でもお取次ぎいたします。

株式会社 東京衡機
TOKYOKOKI CO. LTD.

〒252-0151 神奈川県相模原市緑区三井315番地
TEL 042-780-1650 FAX 042-784-6094

ホームページのご案内

IR情報や決算情報をはじめ、最新の事業動向をご覧ください。

<https://www.tksnet.co.jp/>



会社概要 (2023年8月31日現在)

商号	株式会社東京衡機
本社	東京都渋谷区桜丘町30番3号 カラリビル4階
本店 (登記上)	神奈川県相模原市緑区三井315番地
創立	1923年 (大正12年) 3月20日
資本金	5億円
従業員数	14名 (連結137名)
事業内容	● 東京衡機グループの経営戦略の立案・遂行 ● グループ子会社の統括管理およびサポート 【グループの事業内容】 ● 試験・計測機器および関連機器の製造・販売ならびに修理・メンテナンス、校正、受託試験その他の付帯サービス ● ゆるみ止めナット、ゆるみ止めスプリング、特殊ばね、ボルトその他の締結部材の製造・販売、各種サービス

役員等 (2023年8月31日現在)

代表取締役社長	小塚 英一郎
取締役 試験機事業担当	上野 正男
取締役 (社外取締役)	鈴木 妥
取締役 (社外取締役、弁護士)	松野 絵里子
常勤監査役	鶴見 孝
監査役 (社外監査役)	玉虫 俊夫
監査役 (社外監査役、公認会計士・税理士)	瀬山 剛
会計監査人	監査法人アリア

事業拠点

子会社

株式会社東京衡機試験機

営業本部 東京支店 … 東京都渋谷区桜丘町18番4号 二宮ビル1F 109号室
相模原工場 … 神奈川県相模原市緑区三井315番地
豊橋工場・中部支店 … 愛知県豊橋市北島町字北島202番地
大阪支店 … 大阪府大阪市淀川区西中島五丁目12番8号 新大阪ローズビル7階

株式会社東京衡機試験機サービス

本店・本社 … 神奈川県相模原市緑区三井315番地
西日本営業所 … 大阪府大阪市淀川区西中島七丁目8番17号 花原第五ビル8階

株式会社東京衡機エンジニアリング

本店・相模原事業所 … 神奈川県相模原市緑区三井315番地



環境保全のため、FSC®認証紙と植物油インキを使用し印刷しています。